



Financial Data Analytics

フィナンシャルデータアナリティクス

～CFO領域のデータ分析から
デジタルトランスフォーメーションを始めてみませんか～

home.kpmg/jp

CFO 領域で 特に関理財務業務 こんなお悩みありませんか？



CFOの
サポート

CFO が経営者の意思決定のために提供する情報に経理財務部門は付加価値を出せているか



子会社の
財務情報把握

タイトな決算スケジュールの中、信頼性に乏しい連結パッケージに対して、限定的な範囲でしかチェックを行えていない



COVID-19 により
顕在化した問題点①

紙ベースの業務、
手作業の業務が多く存在し、
テレワークに対応できない



付加価値を
生まない分析作業

分析作業や分析結果資料の作成などに時間がかかり、分析で判明した課題の原因調査や是正・改善といった本質的な業務に時間を割けていない



COVID-19 により
顕在化した問題点②

業務が属人化し、見える化ができておらず、人員の配置も固定化されていて、柔軟な担当変更や分担・共同作業が進まない



分析準備

データの取得や成型など、データ分析のための準備がかかる

KPMG ジャパンが実施した CFO サーベイ 2019 では、CFO が経営者の意思決定のために提供する情報に関して改善すべき事項として、70%を超える企業が「適時性」及び「柔軟性」を挙げています。

また、経理人材に今後求められる能力として、全体の65%が「データ分析・解析能力」を挙げています。

さらに、CFO を支えるプロセスの特に重要な課題として「システム／テクノロジーの活用が足りず効率化が不十分」と回答した企業が65%に上る結果になっています。

今後は、経営層に対して各種のインサイトを提供するため、テクノロジーを活用して、より多くの財務情報を様々な視点・確度から分析・解析する能力を組織として備えることが必要になると考えられます。

FDA の利用には、多額の資金や労力の大きな投資は必要ありません。FDA は、初期導入コストなしの月額料金ですぐに利用が可能のため、データ分析を経理財務部門に根付かせる変革の第一歩としてご利用いただけます。



データ分析
ツール

データ分析画面が見にくくて
わかりづらいが、見やすい画面
を作るためのリソースがない



分析ノウハウ

分析結果が共有されていない
から担当者任せとなる（担当
者交代でゼロからスタート）



分析精度

分析精度が低くて
効果的な分析ができない



分析シナリオ
作成の煩雑さ

大量の仕訳データからどう
やって傾向分析・異常検知を
すればよいか、知見がないた
めわからない



COVID-19、天災
などの不測の事態

前年比較だけでは
異常兆候の有無を
把握できない



適時運用の
モニタリング

適時に立替経費申請・
承認を行っていない従業員
を見落としていないか



従業員立替経費
の可視化

立替経費全体を可視化する仕組みが
なく、異常な経費利用を監視でき
ていると言い切れない



先見的な
内部監査

現行の内部監査では、
問題の発見に
タイムリーさを欠く

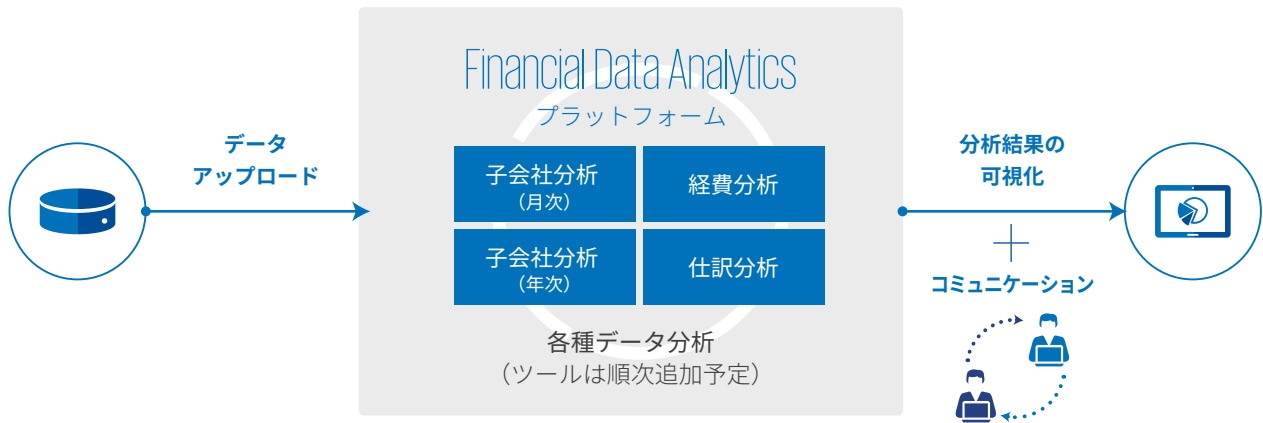


“ あなたの企業の経理財務業務は、
デジタルで**価値を創造**していますか？ ”

KPMGのFinancial Data Analytics

～日本企業の経理財務業務のデジタルトランスフォーメーション～

Financial Data Analytics の特徴



導入コストなし
即日利用可能



テレワーク環境で
利用可能



ナビゲーション
機能で簡単操作



日本企業の
ニーズにマッチ

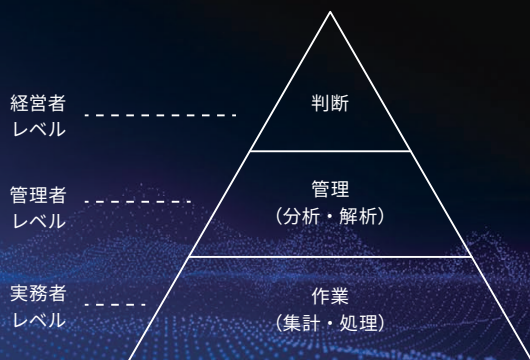


分析に関する
対話をサポート



付加価値を生まない「作業」から脱却し、
付加価値を生む「アクション」へリソースをシフト

現状のCFO機能



データ分析業務を通じた客観的な判断

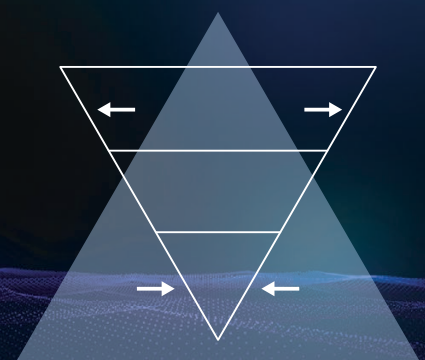
- 客観的な判断
- インサイトの創造
- 子会社財務ガバナンスの向上 (問題の早期発見等)
- 異常検知項目の実態調査を通じた 全社&個社視点の業務の改善提案

高度化

効率化

- データ分析資料作成の効率化 (煩雑なデータ加工は不要)

目指すCFO機能の姿



01

子会社分析 ツール

機能紹介 ▶ P05

親会社経理財務部門・内部監査部門等が子会社の財務数値を分析するためのツールです。

子会社分析ツールは、グループ会社から提出される連結パッケージデータ（連結調整前）を分析対象とします。

分析担当者は、分析指標及び閾値の組合せにより定義された分析シナリオに基づき異常値を検知し、検知結果をビジュアルに表示します。前期・前年同月比較のほか、長期トレンドやセグメント中央値比較といった視点での分析を行うこともできます。

異常検知された項目については、原因の調査が実施されることを想定し、調査方法や調査結果をコメントとして記載して記録する機能を実装しています。継続してツールを利用することにより、分析に係る知見・ノウハウが蓄積されるため、属人化の排除の他、データ分析の効率化・高度化につながる効果が期待できます。

また、分析シナリオごとに検知された異常値に基づき、子会社のリスクがスコアリングされるため、内部監査部門等の監査計画策定やリスク評価の参考情報としてもご活用いただけます。



02

仕訳分析 ツール

機能紹介 ▶ P07

経理財務部門・内部監査部門等が、会計仕訳をモニタリングすることにより会計処理の誤りや異常な取引の兆候を検知するためのツールです。仕訳分析ツールは、会計システムから出力される仕訳明細データが分析対象となります。

分析担当者は、月次などのサイクルで、仕訳量の傾向や異常兆候、ルール逸脱について、大きな変動や調査を要する項目がないかを確認します。仕訳データ分析ツールで提供される分析シナリオは、特にエラーや不正が発生しやすいハンド仕訳・決算整理仕訳を対象に、損益

影響額（厳密には純資産に与える影響額）を基準として高リスク仕訳を抽出します。仕訳分析ツールでは、抽出された仕訳がユーザによる内容の把握と絞り込みを効率的・効果的に行えるインターフェースを備えています。また、仕訳分析ツールは、絞り込みの過程を履歴として残す機能の他、異常項目に対する調査結果をデータとして取り込む機能を実装しており、データ分析に係る知見・ノウハウの蓄積、メンバー間での共有にご活用いただけます。



03

経費分析 ツール

機能紹介 ▶ P09

経理財務部門・内部監査部門等が、従業員の立替経費のモニタリング、異常な経費明細の兆候を検知するためのツールです。

経費分析ツールは、従業員立替経費明細や勤怠データ等を基に、分析シナリオにより異常経費明細を自動検知し、結果を可視化します。部門や経費種類ごとの無駄な支出の兆候、申請・承認ルールからの逸脱の兆候、不正利用リスクシナリオに該当するデータについて確認でき、経費の適正化にご活用いただけます。

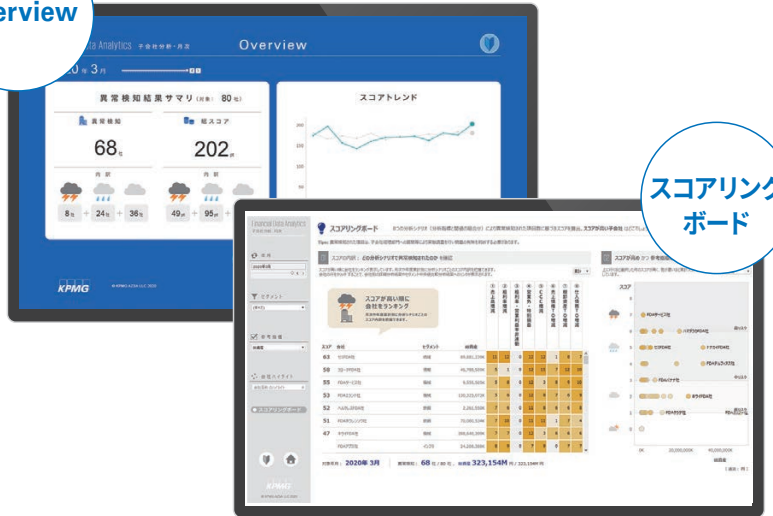
分析担当者は、異常と判断した経費取引の原因・実態調査を行うことが想定されますので、調査対象取引の一覧出力機能の他、調査結果を記録してツールに取り込む機能も備えており、継続利用によりデータ分析とモニタリングのノウハウの蓄積が図られます。

経費分析ツールは、従業員立替経費の分析業務プロセス全般をサポートします。

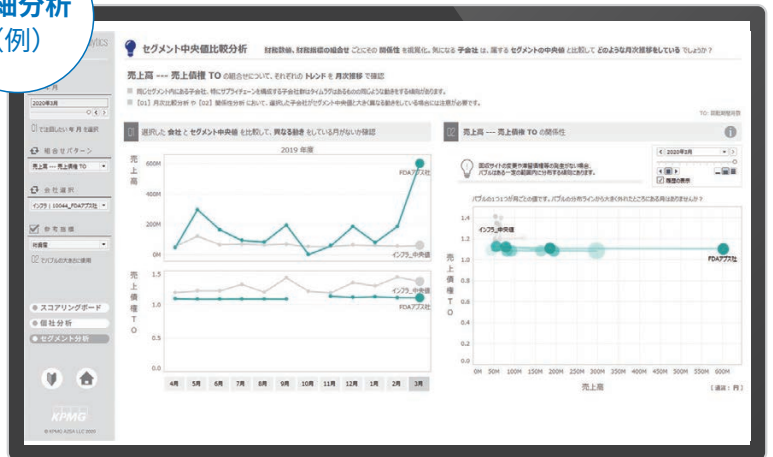
子会社分析ツール

親会社経理財務部門等による子会社財務数値の分析のためのツールです。
内部監査部門等の監査計画策定やリスク評価の参考情報としてもご使用いただけます。

Overview



詳細分析 (例)



詳細機能のご紹介



詳しくは動画を
ご覧ください！

コミュニケーション



- ▶ Overview^{※1}では、分析対象年月における異常検知された会社数やリスクの総スコアを確認することができます。会社ごとのスコアに基づきリスクの程度を判定しています。なお、子会社分析ツールは、分析指標と閾値からなる分析シナリオにヒットした項目を異常として検知する仕組みです。また、前年度と当年度の総スコアの月次トレンドも確認することができます。

- ▶ スコアリングボードでは、会社別分析シナリオごとの異常検知状況やスコアを確認することができます。詳細な分析結果を確認されたい場合は、ここから詳細社分析や指標別分析^{※2}、セグメント分析^{※1}に移ることができます。

※1：月次のみ

※2：年次のみ

▶ 個社分析

選択された会社の分析シナリオごとの異常検知やスコアの状況のほか、分析指標の推移分析結果や、長期トレンドの観点からの収益性分析・効率性分析の結果を確認することができます。

▶ 指標別分析^{※2}

選択された指標の過年度・当年度別散布図や、指標の数値が高い会社の分析結果を確認することができます。

▶ セグメント中央値分析^{※1}

選択した会社及び分析指標について、その会社が属するセグメントの中央値と比較分析した結果を確認することができます。

※1：月次のみ

※2：年次のみ



- ▶ 子会社分析ツールでは、スコアリングボードや個社分析といったページごとに、分析結果に対するコメントを残すことができます。分析結果を確認する際にフィルターを設定された場合には、当該フィルター等の設定条件もコメントとともに残すことができます。

- ▶ KPMGは、異常検知された項目に対する実態調査の方法や調査結果をコメントに残し、継続的な子会社分析業務に活用し、分析に係る知見・ノウハウの蓄積の効果が期待できると考えています。

仕訳分析 ツール

経理財務部門・内部監査部門等による会計仕訳のモニタリング、異常な仕訳の兆候を検知のためのツールです。

特にエラーや不正が発生しやすいハンド仕訳を対象に、損益影響に与える影響の視点での分析を行います。異常な仕訳を特定し、調査結果を蓄積することにご活用いただけます。

詳細機能のご紹介



詳しくは動画をご覧ください！

Overview



詳細分析 (例)



コミュニケーション



- ▶ Overview では、月次で仕訳量の傾向や異常兆候、ルール逸脱の状況を確認し、調査を要するような事項が生じていないかを確認できます。
- ▶ 「仕訳量の傾向」では、全体仕訳及びハンド仕訳の仕訳量・金額、前月比前月比が表示され、前月からの変動を確認することができます。



- ▶ 「ハンド仕訳に係る高リスク仕訳の合計額」では、ハンドで入力した伝票の純資産影響の合計を表示しています。加えて、異常兆候は、不正・誤謬の可能性のあるリスクシナリオにより抽出されたハンド仕訳の純資産に与える影響額を表示しています。異常兆候を示す仕訳の詳細を確認するかどうかを判断することができます。
- ▶ 「ルール逸脱」は、ルール逸脱になりうる自己承認、深夜早朝などの入力仕訳件数を表示しています。
- ▶ それぞれの Next ボタンから詳細分析ページへと遷移することができます。

▶ リスクシナリオ分析

異常兆候が検知された高リスク仕訳の合計金額をもとに、より詳細に分析すべきリスクシナリオの選定・検討を行います。フィルタ機能や月次推移グラフを活用することで、金額や傾向の変動の大きさから、調査対象件数を絞り込むことができます。

▶ ルール逸脱シナリオ分析

選択された指標の過年度・当年度別散布図や、指標の数値が高い会社の分析結果を確認することができます。

▶ 基礎分析

選択した会社及び分析指標について、その会社が属するセグメントの中央値と比較分析した結果を確認することができます。

- ▶ KPMG の仕訳分析ツールでは、分析ページごとに、分析結果に対するコメントを残すことができます。分析結果を確認する際に、フィルターを設定した場合には、フィルターの設定条件もコメントとともに記録することができます。
- ▶ 仕訳分析ツールは、異常な仕訳の兆候に対する分析後、調査が行われることを想定し、右記のような機能を実装しています。データ分析に係る知見・ノウハウの蓄積、担当者間のコミュニケーション等の効果が期待できると考えています。

機能

- 仕訳単位の明細をファイル出力できます。
- 調査結果を出力ファイルに入力できます。
- 調査結果を FDA にアップロードすることで、分析結果をデータとして蓄積できます。

経費分析 ツール

経理財務部門・内部監査部門等による従業員の立替経費のモニタリング、異常な経費明細、不正利用の兆候を検知するためのツールです。

従業員立替経費の取引全体から異常取引を自動検知し、結果を可視化します。無駄な支出の削減、手順に則った運用、経費不正利用の撲滅にご活用いただけます。

詳細機能のご紹介

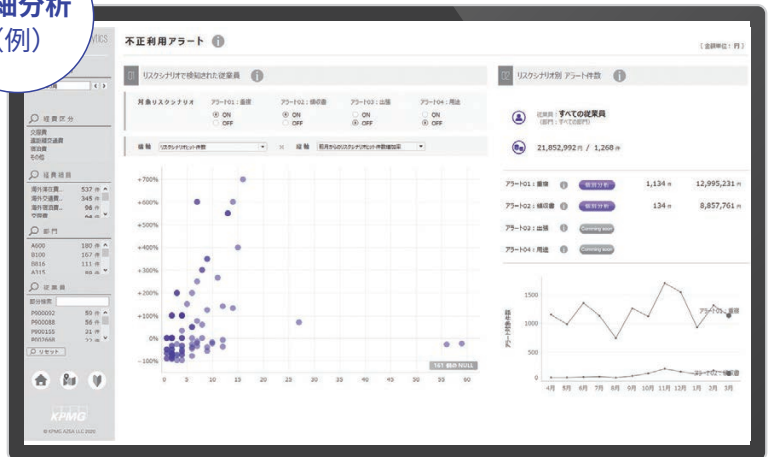


詳しくは動画をご覧ください！

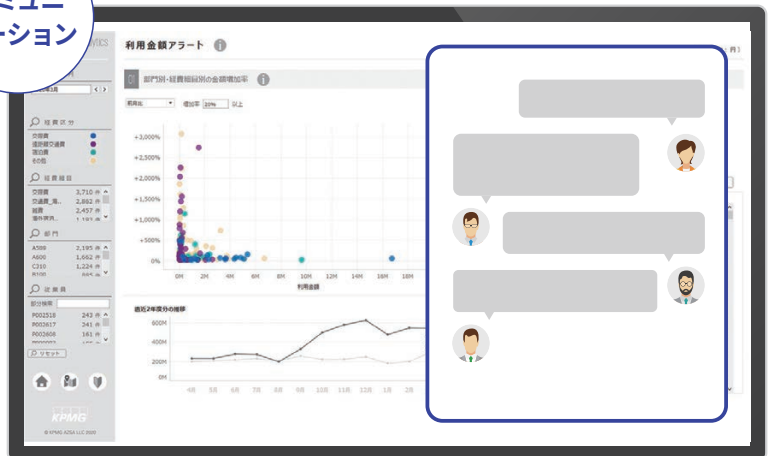
Overview



詳細分析 (例)



コミュニケーション



- ▶ Overview では、分析対象年月における経費種類ごとの金額をはじめとして、無駄遣いの可能性や申請承認ルールの逸脱、不正利用の兆候について確認することができます。
- ▶ 基本となる分析として、経費全体を経費種類・細目・部門別の観点から確認することができます。また、リスクシナリオによる分析として、3つの視点からモニタリングすることができます。
利用金額アラートでは、利用金額がこれまでより増加傾向にある部門・経費種類の数を確認できます。

申請承認ルールアラートでは、経費の発生から申請・承認までに期間を要している人、経費細目の誤り等の異常の可能性を確認できます。
不正利用アラートでは、リスクシナリオに該当する人の数を確認できます。

- ▶ それぞれの Next ボタンから詳細分析ページへと遷移することができます。

▶ 利用金額アラート

前年同月や前月と比較して金額増加率が高い部門・経費種類の散布図や直近12ヶ月の金額推移を確認できます。選択した部門・経費種類に該当する人の経費明細が表示されます。

▶ 申請承認ルールアラート

経費の発生から申請・承認までの日数がランキングされます。選択した人の日別の申請内容を確認することができます。人別の経費単価や日別の申請状況から、経費細目や申請単位の誤りの可能性を分析することができます。

▶ 不正利用アラート

不正利用リスクシナリオに該当する経費明細について、人別に散布図で表示されます。詳細に分析すべき対象者については不正利用リスクシナリオごとに個別分析で確認することができます。



- ▶ 経費分析ツールでは、利用金額アラートや申請承認ルールアラートといったページごとに、分析結果に対するコメントを残すことができます。
- ▶ 絞り込みの過程を履歴として残す機能の他、異常項目に対する調査をサポートする右記のような機能を実装しており、データ分析に係る知見・ノウハウの蓄積、メンバー間での共有にご活用いただけます。

機能

- 経費明細をファイル出力できます。
- 調査結果を出力ファイルに入力できます。
- 調査結果を FDA にアップロードすることで、分析結果をデータとして蓄積できます。

有限責任 あずさ監査法人

fda-support@jp.kpmg.com

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供できるよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

また、本サービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはあずさ監査法人までお問い合わせください。競合企業のご利用はご遠慮ください。また、弊法人の都合により、業務を提供できるお客様の範囲（個人のお客様を含む）や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。

© 2020 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative (“KPMG International”), a Swiss entity. All rights reserved. 20-5073

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.